

～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～  
「人の力で、まちはかえられる」

# 向島まちづくり通信 第8号

平成29年8月8日発行



中文版，请看在下面的网址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

## 向島まちづくりビジョン 第2回推進会議が開催されました！

7月24日(月)に向島学生センターセミナーハウスにて、第2回推進会議を開催。今回からは議事進行を住民代表が務められ、まちづくりビジョンの4月以降の取組進捗状況の共有や今後の取組の進め方について話し合われました。

会議では7月1日に開催された「話し合う集い」(次頁参照)の報告、また各取組ワーキンググループでの活動の状況が報告されました。

### 取組ワーキンググループの活動状況報告



#### 魅力発信・商業地賑わいワーキング

向島地域全体から多様なメンバーが参加し、歴史まちあるきの社会実験やすばる高校でのマップづくりを実施。今後は駅周辺の活性化の検討、住民ニーズを把握するためのアンケート調査、向島地域全体のまちづくりイベント「秋の祭典」実施の検討を進めていく。



#### 住環境ワーキング

定期的な「住環境パトロール」をこれまでに1・5・6・8街区で実施し、課題把握と共有、それを基にした環境改善について議論している。交通利便性については、近鉄バスとのよりよいあり方の協議を行なっている。また、向島中央公園リフレッシュ事業についての説明会等を実施した。



#### 子ども・若者支援ワーキング

これまで取り組んできたキッズキッチンや中学生学習会などの取組状況や課題を共有しながら、向島藤ノ木学区での新たな子ども食堂、学習会の取組実施、子育て何でも相談窓口の設置等の検討と準備を進めている。

#### 暮らし安心ワーキング

集会所や空き住戸を活用した拠点づくりについて、取組を進める組織の設立の検討や協議を続けており、他都市の事例や八幡市地域包括ケア複合施設への見学を行う予定。また障害者を中心とした地域参画のための組織づくりを検討している。

#### 防災・防犯ワーキング

「防災」では市営住宅の空き住戸を緊急避難場所として活用するため、必要性等について調査・検討し、同時に「わたしの避難計画」づくりを含めた災害時要配慮者の情報把握と支援体制づくりを検討している。「防犯」では地域の防犯活動に関わる住民が集まり、情報共有を行う会合を開く準備を進めている。

### 推進会議での主な意見

- 「中国帰国者が日本語を学ぶ場所が必要」というアイデアが出ていたが、逆に「日本人も中国語を学ぶ場所を中国帰国者のみなさんとつくる」と多少中国語が話せるようになり、中国帰国者も中国語で話せる機会が増えて、お互い交流しやすくなる。
- 市営住宅の空き住戸や集会所の活用等については、具体的にどのように活用していくのか具体的に整理する必要がある。その上で市各部局が横断的に対応できるようにしていく必要がある。

### 取組ワーキンググループ 今後の会合予定

魅力発信・賑わい	9月9日(土) 10:00~12:00	向島学生センターセミナーハウス 2階研修室
住環境	9月5日(火) 19:00~20:30	京都文教マイタウン向島 (商店街:近商向かい)
暮らし安心	9月2日(土) 10:00~12:00	向島二の丸小学校1階ランチルーム
子ども若者支援	通信編集日時点では9月以降開催日は未定	
防災・防犯	防犯:9月16日(土) 10:00~12:00	京都文教マイタウン向島 (商店街:近商向かい)
防災・防犯	防犯:8月下旬開催予定	

※開催予定は各街区・各棟の掲示板、京都文教マイタウン向島(MJ)に定期的に掲示しお知らせしています。その他、京都市ホームページにも掲載しています。

## 第3回「向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」が開催されました。

7月1日(土)に向島二の丸小学校体育館にて、約120名が参加し、今年3月に策定した「まちづくりビジョン」について共有するとともに、小中学校敷地など向島にある資産を活用する視点からまちづくりについて話し合いました。



### グループに分かれた話し合い「ビジョングーム」

「実現したいまちのストーリー」、そのための「敷地等の活用アイデア」、「これから取り組んでいくこと」について9つのグループに分かれて話し合いました。



#### 1班 「老年活動中心(センター)」をつくろう

中国帰国者の高齢者・子どもたちが集い、日本語をはじめいろいろなことを学べ、踊りや歌など多世代での交流を楽しめるまちに。まずは月2回開催されている日本語教室の機会を広げていこう。



#### 2班 若者に魅力あるまち向島に。

起業できる仕事のあるまち、若者や子育て世代が暮らす向島、子どもと親が集まるイベントで賑わうまちに。ために、向島二の丸小学校の敷地を起業できるオフィス、サークル活動、野菜市、道の駅にしよう。



#### 3班 向島のまちのイメージアップ!

趣味の活動ができる、音楽が楽しめる、食事ができるような世代を超えて集える施設に整備して、若い人も高齢者も、助け合いのできるコミュニティのあるまちに。まずはコーラスや絵手紙など趣味の集まりを開催しよう。

#### 4班 高齢者と子どもがいきいきとした町へ!

中国帰国者も使えるプールやジム、日本語学習ができる場所などの老人活動センターや子どもたちが勉強、スポーツ、遊びができる場所としての子ども活動センターを。そのためにまずは交流イベントの開催や、日本語を教える先生を募集しよう。

#### 5班 おいしい町向島、おしゃれな町向島

マルシェやヨガ、ダンスなどのワークショップ、バーベキューができる公園や広場をつくることで、おしゃれで写真映えする若者が来なくなる町に。子どもからお年寄りまで安心して集える場をつくることで、住みやすいまち、全世代がつながるまちに。



#### 6班 誰もが集える ゆりかごから墓場まで一生涯利用できる施設に

子ども、障がい者、高齢者、外国人など誰もが集える一生涯利用できる施設をじぶんたちでつくる。そのため違いを認め合えるような出会いのイベント、向島のいいところを探す、生き物を調べる活動から始めよう。

#### 7班 老いも若きも誰もが楽しめる複合施設

子ども達が安心して過ごせる、障害者も不安なく過ごせる、高齢者も生き生きと活動できる場所、農園にもなり、災害時の避難場所にもなる場所に。まずは住民同士の交流事業から始めよう。



#### 8班 住民も来訪者もみんなが楽しい向島

子どもたちが学び活躍する居場所がある、多世代が触れ合う機会がある、文化活動が活発なまちに。学校敷地のグラウンドをスポーツと災害時の避難拠点に活用、外周をランニングコース、周辺にまちづくり拠点を。施設管理に住民が参加し、高齢者が活躍できる場にしよう。



#### 9班 誰もが隔たりなく集まれる場所

学区に縛られず交流ができる、向島が1つになれる場所、大人も子どもも一緒に楽しめる場所、子どもたちが遊び、勉強でき、高齢者との関係がつくれる場所にしよう。まず、住人が一緒に掃除や草刈り、花いっぱいにする活動をしたり、健幸菜園のみんなの作業日を広げていこう。

## 向島ニュータウン・地域のニュース

### 誰もが安心して暮らせる向島ニュータウンをめざし、 さまざまな取り組みが進められています

#### 藤ノ木学区 7街区「楽々会」

7街区は藤ノ木学区にある90世帯弱のテラスハウスです。7街区の集会所を「住民の親睦の場」として活用しようと、5年ほど前に発足したのが「楽々会」です。

「楽々会」は年間200日ほど集会所を活用しています。企画の中心は毎週3回、午後1時から開く「つどい」です。数台の麻雀台を囲みます。

夏は熱中症防止のため、「納涼のつどい」として7月中旬から8月末まで、ほぼ毎日集会所を開けています。「絵手紙クラブ」、喫茶「わかば」、「お花見」、「端午の節句祝い宴」「ふたりジャズライブ」「落語＆マジック」などにも取り組んでいます。

運営資金は、手作りコーヒーと会員が作る野菜の売上げなどでまかなっています。



#### 住民のみなさんで「住環境パトロール」

向島ニュータウンまちづくりビジョン推進会議の住環境ワーキンググループの呼びかけで、「住環境パトロール」が4月から多くの住民のみなさんの参加で始まりました。



6月17日京都文教大学MJ前から  
住環境パトロールに出発するみなさん。

市営住宅前や中央広場の道などのデコボコが危ないのではとの声が寄せられており、住民でパトロールを行い、危険と思われる箇所を、京都市や住宅供給公社とも協議しながら改善していくことをめざしています。

毎月第3土曜日午後3時～5時頃まで行い、これまでに1街区、5街区、6街区、8街区をまわりました。真夏の期間は休止し、9月から再開します。



#### 「陸と空 二面の向島ヘリツアーゴ案内

京都すばる高校企画科・地域産業研究班のみなさんが、(有)京フーズ、(株)中嶋農園など地元企業と連携してすすめているのが、「陸と空 二面の向島ヘリツアーゴ」です。

朝は観月橋から向島城跡などを巡り、昼は種智院大学で、向島で採れた野菜で精進料理（弁当）。午後は、向島柳島1番地にできたJPD京都ヘリポートからヘリコプターで5分間の遊覧飛行。

★ツアーオリジナル料金は10月1日（日）料金は1人1万2千円です。

「向島ヘリツアーゴ」のお問い合わせ (有)ワックジャパン TEL:075-212-9993



### 一誰もが活き活きと生活できるまちへ 第28回向島にっこりフェスティバル開催

「第28回向島にっこりフェスティバル」（主催：同実行委員会）が、5月28日（日）愛隣館で開催されました。今回は、「子どもと高齢者の交流」「障がいのある人との交流」「地域の人との交流」「文化の違う人との交流」「震災被災者とのつながり続け」「インクリーシブな社会（共生社会）を目指して！」をテーマにして行われました。

28回目を迎えた「向島にっこりフェスティバル」について、京都市南部障がい者地域支援センターあいりんセンター長の平田義先生にお聞きしました。

「にっこりフェスティバル」開催の当初の目的は、向島ニュータウンにお住まいの障がいのある方々が、介護制度が整っていないので「トイレにも行けない」「食事もできない」などの窮状を広く世に訴える場としてはじめられました。その後、障がい者団体や障がい者に関わる事業所や諸団体の方々と、地域の方々との交流をメインに継続してきました。

この間、障がい者に関わる法律や制度が相次いで施行されてきました。それにより、障がいのある方々の地域での暮らしは、少しずつ良くなってきていました。

2011年に改正された「障害者基本法」第1条に、法律の目的として、「障害の有無によって分け隔てされることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため」と書かれてあります。

わたしたちも、「にっこりフェスティバル」を通して、誰もがにっこり安心できる共生のまち・向島を目指してこれからも活動を続けていきたいと思っています。



### 「まちの保健室」めざし、 『むかいじま健幸ステーション』 8月17日オープン

「ホタルのタベ」（主催：向島駅前街づくり協議会）が5月27日（土）向島中央公園で行われました。



この催しは「にっこりフェスティバル」の前夜祭として行われ、5回目になります。

百匹のゲンジボタルが放流され、淡い光をともして飛びホタルを、子どもづれなどの参加者が楽しみました。

多くのみなさんのご協力によって、向島中央公園で自生するゲンジボタルも見られるようになりました。

### 近鉄バスは「敬老乗車証」が使えます

向島にお住まいの70歳以上の方で「敬老乗車証」を購入される方には、「地下鉄・市バス」用とともに「近鉄バス」用の「敬老乗車証」が発行されます。向島の近鉄バス全路線で、「敬老乗車証」が使えます。



中央広場に「むかいじま健幸ステーション」が8月17日にオープンします。

場所は、以前「茶月」「中国物産店」の店舗があったところで、配食センター「健幸プラス」のとなりです。

看護師、保健師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフが、生活全般の相談をお聞きします。「健幸教室」、「健幸カフェ」（コミュニティースペースの運営）、訪問看護サービスなど。要支援認定を受けておられる方などへの支え合い型ヘルプサービスでは、掃除・洗濯・調理・買い物・お悩み相談・予約代行などの「お支えさん」を募集します。

『健幸』寿命の向上へ、「まちの保健室」をめざします。

「むかいじま健幸ステーション」についてのお問い合わせは、株式会社健幸プラス TEL 644-5500まで。

発行：向島まちづくりビジョン推進会議  
事務局・問い合わせ先：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：菱田、藤田、片山  
電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisamu@city.kyoto.lg.jp

